

# 学年だより



NO.76

荒川区立  
南千住第二中学校  
第三学年  
令和4年6月16日

## 2年分をここで ~The first & best trip~

## 初めての宿泊行事！ 魅惑の京都・奈良への旅

6月8日（水）から10日（金）の3日間、待ちに待った修学旅行がありました。中学校に入学してから初めての宿泊学習が修学旅行ということもあり、6月に入ってから誰もがウキウキやワクワクを隠せず、修学旅行の始まりを待っていました。



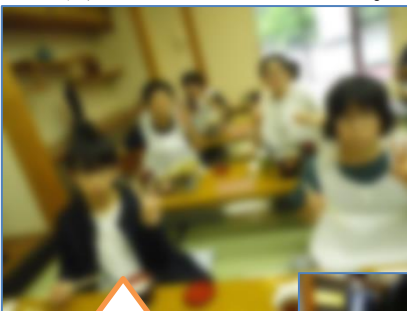
8日（水）の集合時刻が早いこともあり、出発式は前日の7日（火）に行われました。校長先生から、「気づき・考え・実行する」ことのできる修学旅行にしようという話を、鬼澤先生からは「集団行動を学び、周りのためになる行動をして感謝されよう」というお話をもらい、実行委員長の〇〇〇〇くんが実行委員長として全体に挨拶をして修学旅行がスタートしました。

8日の朝は、南千住駅から東京駅まで班別行動で向かいました。朝の通勤ラッシュということもあり、電車や駅が混雑する中ではありましたが、ほとんど何事もなく東京駅の集合場所まで行くことができました。

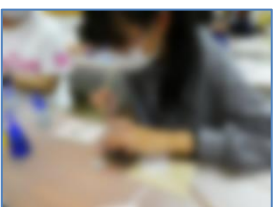
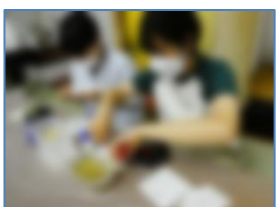
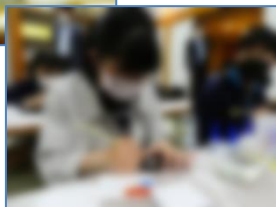
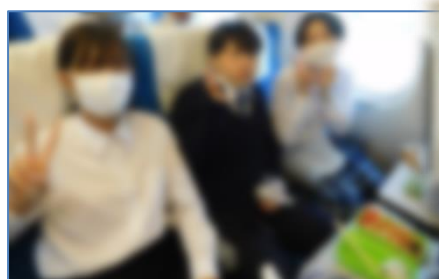
新幹線で東京駅から新大阪駅まで着くと、さっそくバスに乗り込み、奈良の法隆寺を目指しました。1日目のバスの道中は、バズガイドさんが様々な説明をしてくださり、その土地のことや寺社について多くの知識を身に付けることができました。

法隆寺では、五重塔の中にある涅槃像やアルカイックスマイルの仏像を見たり、エンタシスの柱を見たり触ったりしました。宝物殿では、社会の教科書で有名な「玉虫の厨子」を実際に見ることができ、教科書の枠を超えた学びができました。

続く東大寺大仏殿では、大きな大仏様を見ることができました。昨年度に見た鎌倉大仏よりも貫禄があり、その大きさと神々しさに、生徒たちは圧倒されているようでした。その後は奈良公園で班別行動をし、二月堂や猫殿、鹿とのふれあいなど各班で様々な時間を過ごしました。鹿にシカせんべいをあげようと近づいた人の中には、せんべいではなく制服を食われてそうになった人もいたようですが、それも楽しい思い出のひとつとなりました。



奈良公園の後は、1日目の宿である多武峰観光ホテルに向かいました。ホテルに着いたら早速お待ちかねの夕食の時間。夕食では、義経鍋という大和名物料理百選第一位にも選ばれた鍋料理をいただきました。鴨肉や豚肉などがたくさん出てきて、ご飯を食べる手が止まらない生徒がたくさんいました。夕食後には、京都の伝統文化である漆器の加飾を行いました。一人ひとり自分の個性を出し、素敵な作品を仕上げることができました。



2日目は、今回の修学旅行で楽しみにしていた人も多かった、京都の班別行動。京都の町を班ごとにタクシーで巡りました。タクシーの運転手さんが観光ガイドの役も担ってくださったため、楽しいだけではなく、多くの学びのある時間になったようです。



3日目は亀岡まで移動し、保津川下りを行いました。江戸時代から明治時代までの間、保津川は重要な水運路として使用されていました。明治以降は荷物に代わって観光客を乗せた川下りが始まり、創業からの歴史は400年にも及ぶそうです。その保津川下りの中で、絶景を眺めたり、急流地点を越したり、様々な形の岩を見たりと、とても楽しむことができました。船頭さんが、それぞれの場所をガイドしたり、和歌を詠んだりくださったのも、印象深く残っています。中には、実際に船を漕ぐ体験をさせてもらえる人もいました。船を上手に漕ぐことができず、船頭さんの仕事の難しさを体験することができました。船をおりると、嵐山散策を行い、京都で過ごせる最後の時間を過ごしました。



この3日間を通して、集団行動の難しさや大変さ、時間やルールを守ることなど様々なことを学ぶことができました。清里移動教室や下田移動教室がなかった分の学びをこの修学旅行で取り戻し、3年生として立派に成長することができたように思います。修学旅行が成功だと言えるのは、修学旅行の学びを学校生活に生かすことができたときです。鬼澤先生の話にもあったように、「修学旅行を終わらせない」ようにし、日々の生活も修学旅行前よりも良いものにしていきましょう。この3日間できた、「気づき・考え・実行する」ことや「声掛けをする」こと、「先をよんで動くこと」をぜひ日常から実践していきましょう。これからの皆さんの成長に期待しています！